扶桑畫人傳

巻之一

Fu-so gajin-Den

NO I

Gift from Bunkio Matsuki.

古筆了仲編輯

扶桑畫人傳

全五冊

阪昌員藏版

扶桑畫人傳序

本朝の畫源神代に始るといへとも後世にいたり
巨勢の金岡ありて漸く畫躰備る丈より
以降連綿として畫工逸人世に並び出ると
に争ひて名家をみなあり往く遺跡も繁務
と今なるとなすに至り家々書畫を鑑しても真
贋をも審定する業あれとも日にあまり時珍詠
をも展することにも妙技を感賞せしめたるも
ありしてこの人との勧にやらせて上天子より
下庶人にいたるまて我朝に畫をよくして
名畫の今の世に残る人との畫傳を纂て

集めて五巻と成し扶桑畫人傳と名つく
しかりといへとも遺漏なきよしもあらす
同しく識者此補闕あらんことをこふのみ

明治十六年八月

古筆了仲

小引

移南山蘭栽於北丘千里異處其香莫不同者也余於古筆了仲子交游四十年其情猶一遐邇離合或在異地思繹無纖介信慕如比隣如今共在輦下于月于花交情愈密可謂同心之結果耳子家世鑒古人之筆蹟這回編輯古今之畫傳號扶桑畫人傳稿成一日袖之請余小引余閲之而其驚精覈沈暗豁開非子之力而復誰能之謂古筆了仲

子知余愚而不絶交斷金之情及于茲
故忘懟愧以書此語世之讀此編者宜
知好爻之交如斯於余亦為此書霑芳
蘭之餘馥可勝喜哉
明治壬午天中節
豫堂竹腰源正美識
中島梅仙書

扶桑畫人傳序

古筆了仲ぬしはおのか家のまもりてわかき
よりいにしへより今にいたるまて世の筆のあと
をあつめしらへいくそたひかあつめもて
はの絵をはしめ画てふものあまたの画
をさなかりしよりのほとのめてあつめたるかはふかく
絵詞をかきしるしたるかの絵なとのこと
ましいくたひなりしかはおもしろくかそへ
はしき画ともあつめたるへしさはかりかたん
もて来し此中に絵のくはしきを見わかちぬる

かくさしむて世のうちはきこえはやまちわかれ
しらしの傳ともきとしらえたふしとしらえられ
まつの五峯の、かうにありて扶桑畫人傳と
名はかへられたるところは書のむかしのさまを
きむゆるそてあらし　あそれかくさとりわかみ八
世になき事のもありかともさらい人のみちたらよきらぬ
よのねうえまかくうのへしうきれいらなれえ
ころなきことまてあらむのしときは
明治十八年の五月くれのはのかよゆら

釈知ある

一此扶桑畫人傳ハ予カ家ニテ名譽ノ画ヲ見タル毎ニ其画傳其画風ヲ記シ置タル侭ヲ出シ強テ古書ノミニハヨラス去レハ諸書ニアル画名ハコヽニモレタルモアルベシ

一第一ノ冊ハ土佐家ヲ始トシテ其支流住吉板谷ニ終ル但シ其流ヲ學フ者數多アレハ次ノ巻ニ出ス第二ハ狩野家ヲ始トシテ其門派コレニ列ス第三ハ啓書記ヲ始トシテ雪舟雪村ノ末派ニ終ル第四ハ圓山又四條風ヲ始トシテ文人画家ニ終ル第五ハ帝王ヲ始トシテ親

王以下公卿武家雜士僧分女筆浮世繪ニ至ル迄都テ五巻ニ分チテ一部ヲナス

一本朝ノ聖徳太子弘法大師ヲ始メ上天子ヨリ下庶人ニ至ルマテ有名ノ先哲多クハ画ヲ筆セサルハナシサレド画ヲ以テ唱フルニタラザル人或ハ其画ノ話シノミニシテ今ノ世ニ殘ラザル人ハ之ヲ皆省ク

一專門家ニ非トイヘドモ画ヲ以テ世上ニ稱セラル丶人ハ皆之ヲ擧グ

一古書ノ畫傳往々誤リモ少ナカラズ故ニ今之ヲ訂シテ記載ス

一諸名家ノ画ニハ怪談アリ予ハ之ヲ信ゼザレバコトゴトク除ク譬ヘハ不動ヲ画ケハ乍チ火炎ヲ生ズルガ如キ也

一墨圏ハ画風變興ノ大綱ヲ分ツノ印トス

扶桑畫人傳卷之一目錄

光文　三十四
光貞　三十五
光孚　三十六
光清　三十七
○
行長　三十八
相保　三十九
隆盛　四十
永春　四十一
寂濟　四十二
光國　四十三
正甫　四十四

○
金岡　四十五
相見　四十六
公忠　四十七
公望　四十八
弘高　四十九
是重　五十
信茂　五十一
宗義　五十二
益宗　五十三
有宗　五十四
宗久　五十五

永有　五十六
光康　五十七
有家　五十八
有康　五十九
○
金若　六十
金高　六十一
金持　六十二
宗深　六十三
源慶　六十四
尊知　六十五
源尊　六十六

有行　六十七
有忠　六十八
有重　六十九
有久　七十
行忠　七十一
惟久　七十二
俊久　七十三
覺玄　七十四
豐後法橋　七十五
筑後法印　七十六
越後法眼　七十七

○
為氏　七十八
為成　七十九
為遠　八十
為久　八十一
為行　八十二
澄賀　八十三
勝賀　八十四
良賀　八十五
榮賀　八十六
○
成忍　八十七

淨賀　八十八
了尊　八十九
淨宏　九十
松谿　九十一
信春　九十二
○
觀深　九十三
尊海　九十四
慶舜　九十五
琳賢　九十六
琳玄　九十七
侍從　九十八

扶桑畫人傳巻之一

古筆了仲編輯
赤松徳三
佐藤榮中 仝校

○基光 一

姓ハ藤原大職冠鎌足六世閑院贈左大臣冬嗣公ノ男内舎人藤原良門ノ男利基ヨリ七世中納言清隆ノ男ナリ抑巨勢金持ヨリ画傳ヲウケテ佛画ヲ工ニス終ニ一家ヲナシ画工トナル南都東大寺ニ住シ春日ヲ以テ稱号トス始テ画所預トナリ内匠頭越前守ニ任ス此時相撲人形ヲ画キ

又三尊来迎ノ圖等アリ頗ル精密ニシテ筆力盛ナリ則チ土佐家画工ノ祖先ニシテ後昆ノ連續セルコト殆ント九百年ニ近シ其中間俊傑コモゴモ出テ家聲ヲ墜サズ今土佐住吉及ヒ支族各古則ヲ守リテ画事盛ナルモ基光ノ功德ヨリ出テカクノ如シ他ニ之レアルベカラズ故ニ工藝ノ名家トヤ謂ハン世上ニ存在シテ有名ノ画圖左ニ記ス寛弘中ノ人明治十六年迄凡八百八十年

遺蹟著名ノ品

一山水屏風片　一相撲繪巻物

一阿彌陀佛　一山水三尊来迎

隆能　二

画所預トナリ春日ト稱ス基光ノ男母ハ高階為行ノ女ナリ正五位下藏人主殿頭ニ任ス画法ヲ父ニウケテ亦佛画ニ工ナリ且殿閣倭人物ヲ画クニ自ラ妙ヲ得タリ爰ニ至リテ今云フ土佐風ノ画法始テ起リ精工トナル因テ源氏ノ圖ヲ作ル頗ル世ニ名高シ承保中ノ人明治十六年迄凡八百十年

遺蹟著名ノ品

一源氏小巻物　一普賢十羅刹女

一十一面觀音　一彌陀三尊童子有

一物語残缺

隆親 三

画所預トナリ春日ト稱ス隆能ノ男従五位下備前守伊豫守又中務少輔等ニ任ス父ノ業ヲ継テ佛画ニ工ナリ山水人物宮殿等ハ能セサルニヤ未コレヲ見ズ大治中ノ人明治十六年迄凡七百五十八年

遺蹟著名ノ品

一立像辨財天　一諸佛画

○光長 四

画所預トナリ春日ト稱ス隆親ノ男従四位下越前守又刑部大輔ニ任ス業ヲ父ニウケテ佛像ヲ画クニ工ナリ然リトイヘドモ廣ク画事ニツカント云テ殊更ニ研窮シ終ニ妙手ニ至ル時ニ光長ヲシテ佛刹霊驗ノ圖又奇事ノ草子等ヲ筆作セシメ公卿権者各詞書ヲ賛書ス實ニ光長ノ名譽ナリ就中年中行事ノ繪六十巻ヲ画クニ名ヲ得タリ人形屋臺草木鳥獸其筆法ヲ見ルニ大ニ風致アリテ麁密濃淡賢愚長短遠ク規摸ヲノガレテ規摸ニ違フコトコレ妙ナリ其自由ナルコト思ヒハカルベカラズ世ニ和画五筆ト稱スルコトアリ則チ光長慶恩吉光行光行秀ナリ又土

佐ノ三筆ト云フコトアリ光長光信光起ナリ何レモ光長第一ニ居ス舍弟ニハ住吉慶恩一説ニ舎弟ニ非ト云フハ非ナリアリ同ク上画ニシテ世ニ名高シ父子兄弟共ニ妙手ヲ振フコト画家ノ面目名譽ト云フベシ文治中ノ人京師ニ歿ス明治十六年迄凡六百九十一年

遺蹟著名ノ品

一信貴山縁起世ニ鳥羽僧正ト云フハ誤

一伴大納言草子　一彦炎出見草子

一病草子　一吉備公入唐草子

一彩川寺縁起　一三十六歌仙残缺

一保元合戦屏風片シ　一雑画

一餓鬼草子　一兒文殊

一京大報恩寺釋迦堂ハメノ画

一慈鎮和尚筆法華経ノ口画

一聖徳太子妹子馬子圖　一太子堂繪張附

経隆 五

画所預トナリ春日ト稱ス光長ノ男初メ有房従五位下土佐権守又中務大輔ニ任ス業ヲ父ニウケテ佛像并ニ菅家ノ像ヲ能ス猶研究シテ丹青ノ妙ヲ得春日曼多羅又宮曼多羅等ヲ画クニ工ニシテ其名彌々高シ此人ニ至リテ南都ヲ去リ京師ニ住シテ春日ヲ改メ始テ土佐ノ稱号ヲ唱

ヲ建仁年中南殿賢聖障子ヲ画ク寛喜中ノ人明
治十六年迄凡六百五十年

遺蹟著名ノ品

一賢聖ノ人物残缺　一菅神

一太子画傳　一文殊尊

一紀州那智山水中屛風　一西行物語

一雪見御幸　一愛染明王　一鞍馬縁起

一太子画傳小圖巻物　一白山権現本尊

一春日星曼多羅并宮曼多羅

邦隆　六

画所預トナリ土佐ト稱ス経隆ノ男従五位下豊
前守ニ任ス父ノ業ヲウケテ偏ニ画事ヲ勉ム唯
佛画アリテ雑画少シ能ク家法ヲ守ル文永中ノ
人明治十六年迄凡六百二十年

遺蹟著名ノ品

一三十六歌仙巻物

一法然上人四十八巻傳ノ内數段

一天神縁起残缺　一十六善神

一釋迦文殊普賢　一孔子像

一人麿菅神孔子三影　一五節ノ圖

長隆　七

本氏土佐後チ姉小路ト稱ス経隆ノ二男別ニ一

家ヲ成ス従五位下越前守ニ任ス後チ薙髪シテ快閑ト号シ法眼ニ任ス父ノ画法ヲ傳ヘテ妙手ニ至リ頗ル風致アリテ雑画ヲ善クス弘安中ノ人明治十六年迄凡六百年

遺蹟著名ノ品

一蒙古退治ノ本尊不動尊

一融通念佛　一詞林言葉集　一地藏尊

一土蜘蛛草子　一住吉物語

一生寫物巻物 弘安年号　一紫陽花屏風片シ

一法然上人四十八巻傳ノ内數段

一蒙古襲來 長章画筆

八 吉光

画所預トナル土佐ト稱ス経隆ノ三男ナリ父ノ教ヲウケテ佛画ヲヨクシ又雑画ヲモ工ニシテ終ニ妙手ニ至ル仍テ其家ヲ嗣ク従四位下刑部大輔ニ任ス画ク所ノ圖今世ニアリテ珍重ス就中法然上人画傳并ニ上人四十八巻画傳等ハ殊ニ名譽ナリ此人ノ画タマヽ世ニ散在シアルトキハ人々之レヲ賞翫ス正安中ノ人明治十六年迄凡五百八十五年

遺蹟著名ノ品

一法然上人画傳ノ内數段

一遊行縁起　一兒観音縁起

一法然上人画傳残缺　一十王繪
一法然上人四十八巻一筆
一春日宮曼多羅大幅　一隆信圖人麿
一伊勢八幡圖　一吉野曼多羅
一空海記残缺　一淨土大曼多羅
一百鬼圖巻残缺　一兒文殊

光秀 九

土佐ト稱ス邦隆ノ男従五位下飛彈守ニ任ス父邦隆ノ嗣子ハ経隆ノ三男ナル故ニ光秀別ニ一家ヲナシ父ノ家ヲ嗣ガズ然リト雖モ父邦隆ノ教ヲウケテ画ヲ善クシ家法ヲ墜サズ嘉元中ノ人明治十六年迄凡五百八十年

遺蹟著名ノ品

一墨画源氏細画　一狹衣
一佛像　一物語残缺

光正 十

土佐ト稱ス實ハ吉光ノ二男ニテ別家シ光秀ノ嗣ナリ従五位上越前守ニ任ス父吉光ニ画法ヲウケテ妙手ニ至リ就中芦手書ヲ工ニス元亨中ノ人明治十六年迄凡五百六十年

遺蹟著名ノ品

一平家公達草子　一扇面類

一源氏芦手書草子　一源氏小人物巻物

一物語名目

長章 十一

土佐ト稱ス長隆ノ男從五位下越前守ニ任ス光正ノ嗣ナリ父ニ學ンテ家法ヲ守ル延慶中ノ人明治十六年迄凡五百七十六年

遺蹟著名ノ品

一明惠上人解脱上人緣起

一法然上人繪傳四十八巻傳ノ內數段

一緣起物殘缺

隆相 十二

土佐ト稱ス長隆ノ二男又別家ス從四位下刑部大輔ニ任ス父ニ學ンテ家法ヲ能ク守ル正和中ノ人明治十六年迄凡五百七十年

遺蹟著名ノ品

一男衾三郎草子　一新名所圖巻

一千代能圖切　一諸佛画

○隆兼 十三

土佐ト稱ス邦隆ノ二男後チ高階ト改メ別家ス從五位下右近太夫ニ任ス父ノ業ヲウケテ画ヲ善クス延慶中命ヲウケテ春日驗記十六巻ヲ画

ク其事世ニ名譽ナリ從テ其技大ニ進テ妙手ニ至ル延慶ヨリ明治十六年迄凡五百七十年

遺蹟著名ノ品

一馬醫ノ圖詞　一五大明王

一地藏縁起　一石山寺縁起

一春日曼荼羅　一競馬残鈌

一加茂祭　一縁起物残鈌

光顕十四

画所預トナル土佐ト稱ス隆兼ノ男ニシテ吉光ノ家ヲ嗣ク土佐権守後チ越前守ニ任ズ父隆兼ノ教ヲウケテ其技妙手ニ至ル因テ別家ヨリ本家ヲ嗣ク當時建武康安ノ際ニアタリテ公卿僧俗名譽ノ人ト共ニ交リヲ厚クシ騰用セラレ故ニ画毎ニ名家ノ賛詞アリ貞和中ノ人明治十六年迄凡五百三十九年

遺蹟著名ノ品

一直幹申文草子　一弘法縁起残鈌

一木筆不動　一平治物語書継

一木筆三十六歌仙色紙　一歌仙残鈌

一法然四十八巻傳ノ内數段

行光十五

画所預トナル土佐ト稱ス吉光ノ男從四位下越

前守ニ任ズ父ノ教ヲウケテ家ノ画法ヲ守リ抜大ニ進ム時ノ人ニ寵ヲウク後世ニ遺蹟多シ延文中ノ人明治十六年迄凡五百廿八年

遺蹟著名ノ品

一都誓願寺縁起　一北野天神縁起

一義経群高松　一太子画傳　一羅漢

一弘法縁起　一兒文殊　一天狗草子五巻

一四條道場一遍上人画傳

一駿牛繪巻物 今切レ々々トナリテ世ニ散在ス

行廣 十六

画所預トナル土佐ト稱ス行光ノ男従五位下土佐守又越前守ニ任ズ家ノ業ヲ嗣テ画ヲ善クス薙髪シテ法名經光ト云フ遺蹟世ニ多シ永和中ノ人明治十六年迄凡五百年

遺蹟著名ノ品

一奈世竹物語　一地蔵尊十王　一天神

一多武峯縁起　一太子画傳

一和田合戦武者ノ圖

一嵯峨融通念佛ノ内一段

光重 十七

画所預トナル土佐ト稱ス行光ノ二男正五位下越前守ニ任ズ父ノ教ヲウケテ画ヲ善クス因テ

二男ニシテ兄ノ家ヲ嗣ク當麻中將姫ノ縁起ヲ画ス是ニ因テ名工トナル明徳中ノ人明治十六年迄凡四百九十年

遺蹟著名ノ品

一釋迦縁起　一佛画雜画　一義經記ノ切

一淨土五祖草子　一善導大師縁起

一達摩堂草子　一舞樂ノ額

行秀 十八

土佐後チニ春日ト稱ス行廣ノ男別家ス從四位上修理亮大藏太輔ニ任ス家法ヲ守リテ画ヲ善クス因テ命ニ應シ永享二年弟光弘ト共ニ大嘗會悠記方御屛風ノ画ヲ調進ス明治十六年迄凡四百五十年

遺蹟著名ノ品

一春日山童陵王　一三十六歌仙ノ額

一嵯峩融通念佛ノ内五段　一愛染明王

一三十六歌仙色紙　一十六善神

一鹿苑院殿ノ像　一扇面雜画

一日蓮上人ノ像　一加茂祭小巻物

一源氏藤裏葉二枚折屛風　一百鬼夜行

一求聞持色入在

光弘 十九

画所預トナル土佐ト稱ス行廣ノ二男ニシテ家ヲ嗣ク正五位下土佐權守中務丞ニ任ズ家法ヲ守リテ画ヲ善クス因テ兄行秀ト共ニ大甞會主基方御屛風ノ画ヲ調進ス明治十六年迄凡四百五十年

遺蹟著名ノ品

一諏訪住吉神影小圖　一大黒天神
一矜羯羅童子　一繋束猿　一赤童子
一保元合戰ノ屛風　一執金剛緣起
一初瀬寺緣起　一春日曼荼羅
一毘沙門天　一十二類繪

光周二十

画所預トナル土佐ト稱ス光重ノ男從五位下刑部少輔ニ任ズ家ヲ嗣テ画ヲ善クス惜哉弱年ニテ歿ス

廣周二十一

画所預トナル土佐ト稱ス初メ光持ト云フ行秀ノ二男ニシテ家ヲ嗣ク從五位下彈正忠ニ任ズ雍髮シテ經增ト云フ父行秀ノ教ヲウケテ家ノ業ヲ能クシ妙手ニ至ル父ニ行秀アリ子ニ光信アリ實ニ榮花トヤ云ハン時ノ人稱譽ス仍テ後世遺蹟多シ應仁中ノ人明治十六年迄凡四百十

七年

遺蹟著名ノ品

一耕作屏風　一辨財天　一天稚彦草

一繋馬屏風　一人麿ノ影　一道成寺縁起

一水車屏風　一馬上武者二圖

一山王二十一社圖　一鹿苑院殿法体ノ像

一神功皇后縁起

○光信 二十二

画所預トナル土佐ト稱ス廣周ノ男ナリ右近將監ヨリ刑部太輔ニ至リ終ニ從四位下ニ任ズ光信画師ノ家ニ生レテ殊更ニ画ヲ嗜ミ父ノ画法ヲ學ビ幼年ヨリ秡群ノ兆アリ人ト成ルニ及ンテ益画事ニ長ズ曽テ画ノ為ニ大明國ニ遊バント欲ス故アリテ果サズ因テ古來和画ノ名アル者覺融信實巨勢宅磨住吉等ノ筆意ヲ窺ヒ之レヲ兼子之レヲ合シテ其宜シキヲ取リ之レ和シ之レヲ暢テ其法ヲ立ツ凡画家ニ歌仙ノ像ヲ作ルトキハ則チ信實ノ規光信ノ法ニヨリテ筆作ス光信カ画ニ於ケルヤ專ラ氣韻ヲ主トシテ更ニ形似ヲ求メス逸遊ノ圖芳艷ノ情ヲ摸出スル毎ニ其功妙ヲ究ム故ニ歌書草子ノ詞ヲ画テ官院閨房ノ玩物トナル則チ諸氏ノ画工モ亦其格ヲ用ユ近世漆器ノ描金ニハ其采画ノ法ニ倣ヒ

衣服ノ描花ニハ其墨画ノ法ヲ用ヒ又芦屋ニ製造スル鑄釜ニモ其圖ヲ摸ス當時狩野元信ト共ニ名譽アリテ画ノコトニ関スルニ至リテハ光信ヲ賞用セサルハナシ故ニ往昔ニテハ基光中興ニテハ光信末ニテハ光起後世コレヲ土佐ノ三筆ト唱フ實ニ妙手ナリ曽テ名譽ノ遺跡世ニ多シ属テ之レヲ見ヨ光信ノ女ニ千代ト云フアリ狩野元信ノ妻トナル光信傍ラ連歌ヲ好ミ宗祇ニ従テ學ブ九十二ノ齢ヲ保チテ画事ニ従事スルコト實ニ本朝無双ノ画聖ナリ大永五年五月廿日歿ス明治十六年迄三百五十九年

遺蹟著名ノ品

一源氏五十四帖表紙ノ繪
一大画源氏屏風十双　一清水寺縁起
一舞樂屏風 并ニ 巻物　一石山縁起
一扇面彩色墨画二枚折
一金山天王寺縁起 光信元信 両筆
一十二類巻物　一羅漢 并ニ 佛画
一屏風類諸画　一御月扇　一福冨草紙
一職人歌合　一石山縁起　一人麿ノ像
一四十八番春画　一竹生島祭ノ圖
一三十六歌仙額　一源氏繪色紙 大小
一芦屋釜ノ下画　一藤袋草子
一堅田ノ圖　一一ノ谷合戰ノ圖

一地藏堂草紙　一八島合戰ノ屏風 細画
一鶴草紙　一鼠草紙　一狐草紙
一一休半身ノ像　一恵比須大黒
一花鳥其外雜画

光茂 二十三

画所預トナル土佐ト稱ス光信ノ男ナリ正五位上左近將監又刑部大輔ニ任ズ画法ヲ父光信ニ學ンデ父ニ遠ク劣ラザル妙手ナリ故ニ遺蹟多シ享祿中ノ人明治十六年迄凡三百五十年

遺蹟著名ノ品

一當麻寺新緣起　一富士牧狩馬取屏風
一源氏色紙　一源氏車爭屏風
一犬追物屏風　一寒山子化巻物
一花鳥其外雜画

光元 二十四

画所預トナル土佐ト稱ス光茂ノ男從五位下左近將監ニ任ズ父ノ教ヲウケテ画ヲヨクシ終ニ妙手ニ至ントスベキヲ惜カナ永祿十二年正月十三日戰死ス時ニ卅歳故ニ遺蹟少シ明治十六年迄三百十六年

遺蹟著名ノ品

一源氏五十四帖色紙　一天神

一大黒　一若竹鶏屏風　一酒飯論

光吉 二十五

画所預トナル土佐ト稱ス光茂ノ二男初メ刑部従五位下左近將監ニ任ス父光茂ノ教ヲウケテ画ヲヨクシ宮中調進ノ画屢勤ム依テ終ニ妙手ニ至ル後チ薙髪シテ久翌ト云フ故アリテ泉州堺ニ移住ス慶長十八年七十五歳ニテ歿ス明治十六年迄二百八十年

遺蹟著名ノ品

一翁三番叟ノ二幅　一天神

一秋野日月屏風　一利休肖像　一雜画

光則 二十六

画所預トナル土佐ト稱ス光吉ノ男右近ト云フ故アリテ無官ナリ父ノ教ヲウケテ業ヲ嗣キ數年調進ノ画ヲ勤ム寛永十五年正月十六日歿ス五十六歳明治十六年迄二百四十六年

遺蹟著名ノ品

一源氏小扇面五十四抜　一金地舞樂屏風

一人麿　一芦鴈屏風

○光起 二十七

画所預トナル土佐ト稱ス光則ノ男従五位下左

迄将監ニ任ス父ノ家風ヲ事トシテヨク勉ムト雖モ父死スル時光起廿二歳其頃故アリテ泉州堺ニアリ光吉門人某ニ學ンテ画法ヲウケ丈ヨリ土佐代々ノ名画ヲ追慕シ且ツ和漢諸名家ノ奥儀ヲモ窺ヒ頻リニ研究シテ終ニ妙手ニ至ル画ク所源氏ノ圖宮殿樓閣月卿雲客草木花實鳥獸虫魚ノ動静迄筆作殆ント生ケルカ如シ殊ニ李安忠ノ圖ニ倣ヒテ鶉ヲ画クニ工ナリ後世画法開ケテ應擧ニ至リ寫生ノ画ヲヨクスト雖モ光起ノ真寫遥ニ其上ニ居ル土佐家ニ和画中古三筆ト唱フルコトアリ光長光信光起ナリ一時ニ名ヲ海内ニ振ヒ画ヲ好ム者賞譽セザルハナシ前ニ光信ノ時ニ當テ狩野元信アリ當時ニ狩野探幽ノ妙手アリテ土佐ニ光起ノ上画アリ薙髪シテ法眼ニ叙シ常昭ト号ス晩年香茶ノ道ニ志シテ雅吉ニ至ル元禄四年九月廿五日歿ス七十五歳明治十六年迄百九十二年

遺蹟著名ノ品

一三十六歌仙額　一新圖百鬼夜行

一酒顛童子巻物　一黄帝三幅

一田村麿延鎮行叡居士　一鶉ノ圖 数幅

一花鳥ノ圖 数幅　一一本松　一一本櫻

光成 二十八

画所預トナル土佐ト稱ス光起ノ男從五位下左近將監ニ任ス父光起ノ教ヲウケテ終ニ上画ニ至リ家法ヲ能ク守ル雜髪シテ常山ト号ス宝永七年三月廿一日歿ス六十五歳明治十六年迄百七十四年

光祐 二十九

画所預トナル土佐ト稱ス初メ光高ト云フ光成ノ男正六位下左近將監ニ任ス父ノ画傳ヲウケテ家ヲ嗣キ光起ノ圖ヲ能クセリ宝永七年七月七日措哉三十六歳ニシテ没ス明治十六年迄百七十四年

光芳 三十

画所預トナル土佐ト稱ス光祐ノ男十七歳ニテ正六位下卅八歳ニテ正五位下左近將監ヨリ大藏少輔又左近少進ニ任ス父ノ業ヲ嗣テ時ニ盛ニ賞譽セラル官命ヲウケテ屢画ヲ調進ス雜髪シテ常覺ト号ス明和九年八月廿七日歿ス七十三歳明治十六年迄百十二年

光淳 三十一

画所預トナル土佐ト稱ス光芳ノ男正六位下左近將監ニ任ス父ノ業ヲ嗣ギ官命ヲウケテ屢画

ヲ調進ス明和元年父ニ先達テ歿ス卅一歳明治十六年迄百二十年

光時 三十二

土佐ト稱ス光淳ノ男従五位下左近将監ニ任ス父ノ業ヲ嗣ギ官命ヲウケテ画ヲ調進スコレヨリ以下光清迄ハ近代ノ人々ナレバ年号ヲ記サス

光祿 三十三

土佐ト稱ス光時ノ男従五位下左近将監ニ任ス父ノ業ヲ嗣ギ官命ヲウケテ画ヲ調進ス

光文 三十四

土佐ト稱ス實ハ別家光孚ノ男光祿ニ嗣ナシ因テ本家ヲ嗣ク従五位下左近将監ニ任ス官命ヲウケテ画ヲ調進ス古風ニ基キ画才アリテ時ニ稱譽セラル

○光貞 三十五

画所預トナル土佐ト稱ス光芳ノ二男ニシテ別ニ一家ヲ開ク従五位下土佐守ニ任ス官命ヲウケテ画ヲ調進ス妙画ト云フニハ非ト雖𪜈時ニ盛ニ稱譽セラル

光孚　三十六

画所預トナル土佐ト稱ス光貞ノ男從四位下土佐守ニ任ス別家ノ二代目ナリ父光貞ノ教ヲ受テ父ニ能ク似タリ然リト雖圧光貞ヨリハ画才アリテ時ニ賞譽セラル一時盛ンニ画ヲ乞フ者多シ

光清　三十七

土佐ト稱ス光孚ノ男從五位下土佐守ニ任ス父ノ教ヲウケテ画ヲ學フト雖圧画風一変シ先代ニ登リテ古風ヲ研究ス因テ弟光文ト共ニ本支兩家ヲ嗣テ當時盛ンニ画ヲ勤ム

○土佐家支流

○行長　三十八

土佐ト稱シ後チ春日ト改ム隆親ノ三男左近將監ニ任ス父ノ教ヲウケ家法ヲ守リテ画ヲ能クス兄光長慶恩ノ長スル所ヲ得テ画風趣キアリ妙手ト稱ス縁起草紙ヲ画クニ名アリ承元中ノ人明治十六年迄凡六百七十五年

遺蹟著名ノ品

一荏柄天神縁起　一俵藤太草子
一能惠法師草子　一物語巻物殘缺
一人麿ノ影　一雜画

○相保　三十九

元土佐氏後チ海田ト改通稱釆女ト云フ隆相ノ男ナリ父ノ教ヲウケテ画ヲ善クシ殊ニ勉強シテ大ニ妙手ニ至リ自ラ一家ヲナス西行記四巻ヲ筆作ス其圖一々精妙ナラザルナシ世ニ釆女ノ西行記トテ名譽ナリ後チノ画工此記ヲ圖スルトキハ必スコノ画法ニヨル應安中ノ人明治十六年迄凡五百十四年

遺蹟著名ノ品

一西行記四巻　一歌仙切

一五大尊圖　一雜画

隆盛　四十

土佐ト稱ス隆兼ノ二男ニシテ光顕ノ弟ナリ父ノ教ヲウケ画ヲ以テ伊豫守ニ任ス延文年中ノ人明治十六年迄凡五百廿六年

永春　四十一

土佐ト稱ス光顕ノ長男太夫法眼ト稱ス父光顕支族ヨリシテ宗家ヲ嗣ク光顕家ニアリテ其嗣ハ吉光ノ男ヲ以テ義子トス因テ永春支族トナリテ一家ヲ起ス其画スル所光顕ノ教ヲウケテ善ク家法ヲ守ル舍弟二子アリ一ヲ寂濟一ヲ隆光ト云フ各名家ノ聞エアリ貞治中ノ人明治十

六年迄凡五百廿七年

遺蹟著名ノ品

一來迎佛下ニ善導法然　一人麿

一天狗草紙　一雜画

一崖嵬融通念佛ノ内五段

○寂濟 四十二

土佐後チ六角繪所トナル前兵部少輔ト稱ス光顕ノ二男画法父ノ教ヲ受テ妙手ニ至ル永徳年中ノ人明治十六年迄凡五百年余

遺蹟著名ノ品

一惠心縁起　一法花曼荼羅

一氣違草子　一山水屏風

一三十六歌仙大色紙

一崖嵬融通念佛内一段

一天神　一山王靈験記

一頼豪草子

光國 四十三

土佐ト稱ス永春ノ男光顕ノ孫ナリ画ヲ以テ備後守ニ任ス父ノ業ヲ嗣テ家風ヲ善クス應永年中ノ人明治十六年迄凡五百年

遺蹟著名之品

一春日曼荼羅　一求聞持

一嵳峩融通念佛内四段

正甫 四十四

姓氏未詳泉州堺ノ住人土佐光起ノ門人ニシテ画ヲ善クシ鶉ヲ画リニ名アリ元禄年中ノ人明治十六年迄凢百九十四年

○巨勢家

○金岡 四十五

姓ハ紀氏ハ巨勢中納言野足カ孫有行カ子ナリ始ノ采女正ニ任ス清和天皇ヨリ五代ノ朝ニ仕ヘテ官ハ大納言ニ至ル自ラ丹青ノ妙ニ臻リ画ヲ以テ一家ヲナシテ佛像ヲ画リニ精シ弘仁以後鴻儒ノ詩ニ堪ヘタル者金岡ヲシテ其形ヲ圖セシメ又皇居南ノ庇東西ノ障子ヲ画ク歴代鴻儒ヲ作ル則チ紫宸殿障子賢聖像是也小野道風其賛詞ヲ書ス其後數百年來當時繪所ノ預リニテコレヲ画ク或ハ一時有名ノ画史詔ニ應スル者其撰ニ當ル者ヲ画家ノ榮トナス賛詞モ亦是ノ如シ然リトイヘトモ賛詞者ハ只能書ノ搢紳家ヲシテ名ヲ其上ニ書セシムノミ則チ筆道傳法ナル世尊寺家コレヲ書ス此家絶テ後ハ又持明院家獨リ此事ヲ掌トル元慶四年先聖先師九哲ノ像ヲ画ク其他古今著聞集等ニ載スル所画

ニ恡談アリトイヘトモ信スルニ足ラサレハ今之ヲ省ク金岡ノ画一家ヲナストイヘトモ其傳ハ唐画呉道子ヨリ出ル画譜一編ヲ撰フ世ニ傳ハル金岡没日詳ナラスト雖モ恐ラクハ延喜年中ナラン然ル上ハ明治十六年迄九百八十年

遺蹟著名之品

一淨土曼荼羅

一鎌足公多武峯本尊

一漢人狩之圖殘缺　一藥師如來

一地藏尊　一毘沙門天

一阿彌陀三尊

相見　四十六

姓ハ紀氏ハ巨勢金岡カ子也采女正ニ任ス除目成文抄ニ曰「讃岐ノ少目従八位下画師巨勢ノ朝臣相見昌泰二年二月除目執筆時平公又源氏繪合ノ巻ニ云フ竹採翁之事實巨勢ノ相見画」之紀貫之書其事トアリ相見ノ画金岡ト大同小異ニシテコトニ活動アリ同ク佛像ヲ画クニ巧ナリ延喜年中ノ人明治十六年迄九百七十年

遺蹟著名之品

一天人之羅漢　一瀧見觀音

一文殊　一彌陀

一愛染明王

公忠 四十七

姓ハ紀氏ハ巨勢相見カ子也又采女正ニ任ス丹青ノ名家ナリ「村上天皇ノ御宇天暦三年十二月大内重之坤別殿造之坤元禄文題而三人ノ才能コレ在リ詩ヲ作ラレシム其ノ三人者則チ右大弁大江朝綱文章博士橘直幹大内記菅原文時ナリ六十首ノ詩ノ内勅ヲ蒙リテ宰相大江維時二十首ヲ撰出ス其二十首ハ朝綱十首直幹二首文時八首也其画図公忠コレヲ筆ス」ト云々曾テ画ノ屏風ヲ賣ント欲スル者アリ帥ノ大臣將ニ買ントス先ツ公望弘高ヲシテ之ヲ見セシム公望曰是レ公忠カ画ク所ノ屏風ナルトキハ則チ裏面紙縫ノ間悉ク姓名ヲ記セン剥テ而テ試ムヘシト翻テ而テ見ル則杲シテ然リ其心ヲ画ニ用ユルコト是ノコトク天暦年中ノ人也明治十六年迄凡九百三十年

遺蹟著名之品

一傳教大師影題号小野道風

公望 四十八

姓ハ紀氏ハ巨勢造酒正ニ任ス公忠ノ弟ニシテ其家ヲ嗣ク小野宮大臣屏風ヲ造ル公望ヲシテ小松ヲ画カヽシム天元年中ノ人也明治十六年迄凡九百十年

遺蹟著名之品

一相撲繪巻物寄合書

一武知麿之像　　一愛染明王

一扉（妹子 馬子）繪

弘高　四十九

姓ハ紀氏ハ巨勢深江采女正ニ任ス法名延源公望カ子其家ヲ嗣テ繪所ノ長者トナル善ク佛像ヲ画ク具平親王コレヲ賞シタマフ地獄變相又不動尊千體ヲ画ク故ハ弘高初メ僧トナリ後チ還俗スルノ罪障ヲ悔ンテ此像ヲ画テ供養スト云フ或時宇治殿名画師為成ヲシテ扉ノ上ニ画カシム為成扉ニ臨テ一日ノ間ニ畫シ了ンヌ宇治殿謂フ弘高ハ画セントスル時一日工夫ヲ費シ然シテ後筆墨ヲ揮フ為成何ソ卒尒ナル哉トナリ今昔物語ニ云「一條院ノ御代ニ繪師巨勢ノ弘高ト云者アリケリ古ニモ恥チス今モ眉ヲ並ル者ナシ」ト云々寛弘年中ノ人也明治十六年迄凡八百七十五年

遺蹟著名之品

一不動像　　一聖徳太子傳

一十界十五幅　　一性空上人像

一延年舞衛立

是重　五十

姓ハ紀氏ハ巨勢左近將監ニ任ス弘高カ子其家ヲ嗣テ画名アリ長元年中ノ人也明治十六年迄凡八百五十年

信茂　五十一

姓ハ紀氏ハ巨勢左衛門忠ニ任ス是重カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク康平年中ノ人也明治十六年迄凡八百二十年

宗義　五十二

姓ハ紀氏ハ巨勢能登權守ニ任ス信茂カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク善ク佛像ヲ画ク其女後白河院ノ官女トナリ安藝トイフ宮内卿ハ又其女ナリ寛治年中ノ人也明治十六年迄凡七百九十年

益宗　五十三

姓ハ紀氏ハ巨勢出羽守ニ任ス宗義カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク後世画傳詳ナラス此人ノ筆力恐クハ庸画ナラン永久年中ノ人也明治十六年迄凡七百六十五年

有宗　五十四

姓ハ紀氏ハ巨勢民部大輔ニ任ス益宗カ子其家

ヲ嗣ク保元年中ノ人也明治十六年迄凡七百二十五年

宗久 五十五

姓ハ紀氏ハ巨勢修理介ニ任ス有宗カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク正治年中ノ人也明治十六年迄凡六百八十年

永有 五十六

姓ハ紀氏ハ巨勢藏人ト稱ス宗久カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク寛元年中ノ人也明治十六年迄凡六百四十年

光康 五十七

姓ハ紀氏ハ巨勢永有カ子画ヲ以テ其家ヲ嗣ク正應年中ノ人也明治十六年迄凡五百九十三年

○有家 五十八

姓ハ紀氏ハ巨勢光康カ子画ヲ以テ家ヲ嗣ク當時能画ト稱セラレテ家名ヲ輝カス因テ世ニ名画ノ遺ルアリテ人ノ知ル所ナリ元亨年中ノ人也明治十六年迄凡五百六十年

遺蹟著名之品

一行基縁起　一東帯菅公之像

一十六羅漢十六幅
一地藏縁起　　一太子繪傳
一離宮八幡圖

有康 五十九
姓ハ紀氏ハ巨勢光康カ二子画ヲ以テ兄有家カ家ヲ嗣ク建武年中ノ人也明治十六年迄凡五百四十八年
遺蹟著名之品
一人麿之像賛有　一小島荒神
一高瀬寺縁起　一和法縁起残缺
一鳳凰孔雀二幅對

○巨勢家支流
○金若 六十
姓ハ紀巨勢ヲ氏トス始メ出家ニテ朝日阿闍梨圖深又普天子ト云フ後チ還俗シテ画ヲ善クス其流唐画ヨリ出テ一家ヲナス承和四年ニ清涼殿ノ閑ヲ画ケリ且テ大納言ニ至ルト画傳ニアリ大系圖紀姓ノ條ニモ見エス又公卿輔任ニモ見エサレトモ画名世ニ高シ恐クハ金岡ノ祖父タラン承和年中ヨリ明治十六年迄凡千○五十年

金高 六十一

画ヲ善クス

金持 六十二

畫ヲ善クス

此二名ハ年序詳ナラストイヘトモ巨勢氏ニシテ金若ノ子孫金岡ノ一族タルヘシ扶桑画工傳ニ金若カ子金高ナリ金高カ子金持也ト宜ナリ土佐之祖基光ハ画法ヲ金持ヨリ受シト諸書ニ見エタリ

宗深 六十三

刑部丞ニ任ス有宗ノ弟ナリ治承年中ノ人明治十六年迄凡七百年余

源慶 六十四

若年ノ時僧躰トナル有宗ノ末弟ナリ画ヲ以テ法眼ニ任ス宅磨良賀ト共ニ當麻寺新曼多羅ノ事ニ預ル画圖未タ成ラスシテ卒ス其子源尊継テ其任ニアタル建仁年中ノ人明治十六年迄凡六百八十年

尊知 六十五

画ヲ以テ法眼ニ任ス僧躰トナル建久年中ノ人

明治十六年迄凡六百九十年

源尊　六十六

源慶カ子ナリ源慶死シテ後良賀ト共ニ當麻寺新曼多羅ノ圖ヲ為ス後法眼ニ任ス嘉禎年中ノ人明治十六年迄凡六百四十七年

有行　六十七

掃部介ニ任ス文應年中ノ人明治十六年迄凡六百二十二年

有忠　六十八

修理亮ニ任ス弘安年中ノ人明治十六年迄凡六百〇四年

有重　六十九

稱号詳ナラス正安年中ノ人明治十六年迄凡五百八十三年

有久　七十

右近衛將監ニ任ス延慶年中ノ人明治十六年迄凡五百七十四年

行忠　七十一

畫ヲ以テ采女正ニ任ス有久ヵ子佛像ヲ画クニ名アリ文和年中ノ人明治十六年迄凡五百三十年

惟久　七十二

畫ヲ以テ飛彈守ニ任ス當時ノ餘画ニシテ武者ヲ画クニ巧ナル事後三年ノ画ヲ見テ知ルヘシ元亨年中ノ人明治十六年迄凡五百六十年

遺蹟著名之品

一後三年軍記　一如來荒神

一袋草子　一聖徳太子

一辨財天　一はらひとんく

一四十八巻傳數段

俊久　七十三

惟久ヵ子父惟久ノ業ヲ嗣テ名聲ヲオトサス貞治年中ノ人明治十六年迄凡五百二十年

覺玄　七十四

阿闍梨文和年中ノ人圖画ヲ善クシ何レノ人タルヲ知ラスト古書ニアリ豐後法橋ノ画ノ師ニシテ巨勢ノ流ナルコト明カナリ明治十六年迄凡五百三十年

豊後法橋 七十五

其姓名ヲ知ラストイヘトモ画ヲ覺玄阿闍梨ニ學ンテ八坂法觀寺ノ縁起ヲ画クトアリ康安年中ノ人明治十六年迄凡五百二十年余

筑後法印 七十六

應永年中ノ人其姓名ヲ知ラスト古書ニアリ豊後法橋ノ門流ナラン明治十六年迄凡四百九十年

越後法眼 七十七

文明年中ノ人其姓名ヲ知ラスト古書ニアリ巨勢家ノ画風ヲヨクシテ佛像ニ長セリ明治十六年迄凡四百十年余

○宅磨家

○為氏 七十八

姓ハ藤原宅磨氏ノ祖永延年中ノ人ニテ巨勢弘高ト同時ニ畫ヲ以テ爭フト古書ニアリ明治十六年迄凡八百九十五年

為成 七十九

氏ハ宅磨為氏カ子ナリ画ヲヨクスル聞エアリテ繪所ノ長者トナル宇治平等院ニ於テ扉ノ上

凢七百年

遺蹟著名之品

一十六羅漢殘缺　一八大荒神

為行 八十二

氏ハ宅磨為久カ子能画ノ聞エアリテ左近將監ニ任スト東鑑ニアリ又將軍頼經公ニ仕ヘテ寵ヲウク為行画ニ士氣活動アリテ雜画ヲモヨクス當時ノ人皆コレヲ愛ストナリ寛喜年中ノ人

明治十六年迄凢六百五十三年

澄賀 八十三

氏ハ宅磨為久カ子ナリ画ヲ以テ家ヲ嗣キ法印ニ任ス圖画ヲ善クシテ佛像人物ハ神妙ニ蹂ル雜画ニ至リテモ生氣活動アリテ當時ノ人賞セサルハナシ又九條関白兼實公澄賀ヲシテ法然上人ノ真像ヲ寫サシム公ノ意ニカナヘリ而シテ今嵯峨二尊院ニアリ世ニ謂フ足引ノ影是也以後凢ソ上人ノ像ヲ画セント欲スル者皆此ノ像ニ因テ圖ストナルカナ世間ニコレアル上人ノ像千萬トイヘトモ同躰ニシテ趣モ亦同シ栂尾高山寺ニ春日住吉二神ノ古像アリ俗ニ云フ二神毎ニ來リテ法ヲ明恵ニウクトイフ時ニ澄賀往テ請ヒ之ヲ見ントイフ明恵ノ曰ク凢眼

ニ之ヲ拜スルトキハ則チ恐クハ害ヲ蒙ランコトヲ云フ然レトモ固ク請テ己マス而テ姑ク之ヲ許ス澄賀竊カニ摸寫シ駕ヲ促シテ京ニ歸ルトキ馬ヨリ墮テ道ニ卒ス上人ノ言杲シテ然リトアリ其言ハ信ス可カラスト雖トモ今宅磨ノ塚ハ鳴瀑ニ在リ然レハ終ハ此地ニ取ル乎澄賀寫ス所ノ二神ノ像ハ今栂尾ノ神像コレナリ建仁年中ノ人明治十六年迄凡六百八十年余

遺蹟著名之品

一阿彌陀　一不動降三世
一十二天屏風　一法然上人之像
一弘阿三尊　一春日影嚮之圖

勝賀　八十四

氏ハ宅磨画ヲ以テ法眼ニ任ス為久カ子澄賀ノ弟ナリト云フ澄賀ノ家ヲ嗣ク東寺長者補任ニ曰「建久二年新ニ屏風ヲ造リ勝賀ヲシテ十二天ヲ寫サシム其種字ハ仁和寺宮二品守覺法親王ノ筆蹟ナリ」トアリ一時勝賀武藏ニ住ス住所今残リテ法眼坂ト云フ元久年中ノ人明治十六年迄九六百七十八年

遺蹟著名之品

一十二天屏風　一十六羅漢
一毘沙門天　一カハ毘沙門

良賀　八十五

画ヲ以テ法眼ニ任ス土御門院承元二年和州當麻寺ノ僧鏡忍坊良喜坊恵阿彌坊等心ヲ合セテ新曼多羅ヲ圖セント欲ス按察使藤原光親ニ憑テコレヲ奏ス則チ勅許アリ繪師良賀源慶ニ詔シテ圖セシム今ノ當麻寺新曼多羅是ナリ嘉祿年中ノ人明治十六年迄凡六百六十六年

遺蹟著名之品

一十二天　一當麻寺新曼荼羅

榮賀　八十六

宅磨ノ家名ヲ嗣ク父子傳統不詳画ヲ以テ法眼ニ任ス毎ニ釋迦文珠普賢ノ三尊ヲ画テ自ラ宅磨ト書ス其佛像ヲ見ルニ元ノ顔輝ノ筆意ニ似タリ先ニ此躰ヲ見ス盖シ倭画ノ古風ヲ變シテ新ニ漢土ノ筆法ヲ學フコト多クハ此ニ始ル乎正和年中ノ人明治十六年迄凡五百六十年

遺蹟著名之品

一墨画觀音之像　一瀧見布袋之圖
一十六羅漢　一人丸之像
一太子孝養影　一墨画十六羅漢
一摩古仙人　一菅神之影
一真画布袋之圖

○宅磨家支流

○成忍 八十七

栂尾ニ登テ明恵上人ノ弟子トナリ恵日坊成忍ト云フ若年ノ頃性圖画ヲ好ミ專ラ佛像ヲ工ミニシテ瑞泉寺ノ色紙形殿之扉二菩薩及彌陀尊像ヲ画ク雜画ヲモ善クス画ハ宅磨法眼ニ學フト古書ニアリ栂尾ノ舊記ニ因テ見ルトキハ恐クハ勝賀ノ子タルヘシ畫法モ亦ヨク似タリ承元年中ノ人明治十六年迄凡六百七十四年

遺蹟著名之品

一明恵上人墨繪影　一將軍地藏尊

淨賀 八十八

釋氏ニシテ画ヲ宅磨ニ學フトアリ始メ信州康樂寺ニ寓居スル時始テ本願寺ノ祖師親鸞上人ノ行狀ヲ画ク詞書ハ本願寺覺如上人ノ筆ナリ末寺ノ僧徒之ヲ寫ス門徒之ヲ御画傳ト云フ淨賀ノ画スル所ハ今本願寺ニ藏ス元亨年中ノ人明治十六年迄凡五百六十年余

了尊 八十九

嘉暦年中ノ人明治十六年迄凡五百六十年

淨宏 九十

嘉慶中ノ人明治十六年迄凢四百九十四年

松谿　九十一

永亨年中ノ人明治十六年迄凢四百五十三年

遺蹟著名之品

一寒山拾得之像　一仙人之像

一魚藍觀音之像　一觀音之像

信春　九十二

春日ノ画所トナリ京師ニ住ス天文年中ノ人明治十六年迄凢三百五十年

遺蹟著名之品

一三社之圖　一三尊之像

一花鳥之圖　一雜画墨画

○芝家

○觀深　九十三

氏ハ芝名ハ觀深世ニ芝法眼ト稱ス南都ニ住シテ春日ノ畫所トナル世ニ佛画多シ永享年中ノ人明治十六年迄凢四百五十年

尊海　九十四

氏ハ芝名ハ尊海世ニ芝法眼ト稱ス南都ニ住シテ春日ノ画所トナル其ノ画ク所ノ者興福東大

両寺ニ多シ春日安居ノ屋ニ相撲節會ノ屏風ア
アリ嘉吉年中ノ人明治十六年迄凡四百四十年

慶舜　九十五

氏ハ芝名ハ慶舜世ニ芝法眼ト稱ス南都ニ住シテ春日ノ画所トナル世ニ佛画多シ文明年中ノ人明治十六年迄凡四百十三年

○琳賢　九十六

氏ハ芝名ハ琳賢世ニ芝法眼ト稱ス南都ニ住シテ春日ノ畫所トナル後チ京師大原ニ移ル画法土佐ヨリ出テ一家ヲナス佛像ヲ寫スニ巧ナリ東大寺ノ縁起ヲ圖スルコト其名高シ永正年中ノ人明治十六年迄凡三百七十八年

遺蹟著名之品

一東大寺縁起　一諸佛画
一雲中天神之像

琳玄　九十七

氏ハ芝名ハ琳玄實ハ宅磨信春ノ子世ニ芝法眼ト稱ス南都ニ住シテ春日ノ画所トナル佛像ヲ画クニ巧ミナリ長谷観音堂扉四天王ノ像ヲ画ク慶長年中ノ人明治十六年迄凡二百八十六年

侍従 九十八

氏ハ芝侍従ト稱ス琳玄カ子ナリ父ノ画格ヲ傳ヘテ佛像ヲ画クニ巧ナリ南都ニ住シテ春日ノ画所トナル元和年中ノ人明治十六年迄九二百六十七年

○栗田口家

○隆光 九十九

氏ハ粟田口名ハ隆光通稱民部土佐光顕ノ三男一家ヲ開テ洛東粟田口ニ住ス故ニ粟田口法眼ト高稱ス父光顕ノ教ヲウケテ画ク所家風ヲ守ル頗ル活動アリテ當時佛像人物花鳥ヲ能クス應永年中ノ人明治十六年迄九四百八十八年

遺蹟著名之品

一役行者之像　一切形花鳥

一八大荒神之像　一牧童之圖

一崖巌融通念佛ノ内二段

一叡山横川元三大師生前御影三幅寫

一繋馬繪屏風

経光 百

氏ハ粟田口名ハ経光隆光ノ男ナリ又粟田口法眼ト号ス画法父ニ同ウシテ活動アリ設色ノ草花生ルカ如ク佳作ナリ應永晩年ノ人明治十六

年迄九四百六十年

○住吉家

○慶恩　百一

姓ハ藤原氏ハ住吉隆親ノ二子光長ノ弟（光長ノ弟不詳トイフ説ハ非ナリ古来人口ニ傳ヘテ人ノ知所ナレハ弟ト定テ可ナリ）幼名聖壽麿攝州住吉ノ繪所ニテ住吉ノ里ニ住スルヲ以テ氏ヲ唱フ画ヲ以テ法眼ニ任ス画風光長ニ似タリトイヘトモ士氣活動アルヿハ兄ニ越タリ其圖スル所ノ名画世ニ残リテ人ノ知ル所ナリコトニ漢頂之巻或ハ小紫垣草紙等ニ至リテハ秘戯ノ圖ニシテ頗ル世ニ名高シ慶恩別ニ一家ヲナスコト明カナリ本朝画史ニ曰「宅磨住吉粟田口芝ノ四人ハ春日ノ画所ナリ共ニ南都ニ住シテ世業佛像ヲ寫ス」トアリ是ニ因テ見ルトキハ慶恩モ後南都春日ニ移ル歟慶恩画キシ名譽ノ巻物等詞書ハ後白河帝後京極慈鎮等ニテ皆平安ノ名家ナリ然ル上ハ多クハ京師ニ居住セシナラン此人子孫画名ヲ嗣ク者二三代ニシテ業久シク絶タリ（世ニアル因果經ノ画巻物奥書ニ画師住吉ノ住人介法橋慶忍并子息聖衆丸建長六年二月廿七日書寫了執筆良快トアリ」了仲曰此奥書ハ良快ノ真跡ニシテ慶忍ノ文字ハ慶恩ノ書損トモ思ハレス又聖衆丸ハ文字コレ又異ナレハ慶忍并ニ聖衆丸ハ慶恩ノ子孫トナルヘシ然ルトキハ年代モ相當シテ画モ慶恩ト甲乙アルコト明カナリ慶忍ト云フ人此因果經ノ画者トシ此経ノ奥書ニアルノミナレハ唯慶恩ノ附録ニ載テシハラク後案ヲ待ツ）建

慶ノ字肉筆ノマヽ

仁年中ノ人明治十六年迄九六百八十年餘

遺蹟著名之品

一當麻曼荼羅縁起　一漢項之巻

一地藏尊縁起　一不動利益縁起

一住吉神影松鷺之二幅

一春日康曼荼羅　七幅

一春日宮曼荼羅　數ノ内小幅有

一天王寺聖徳太子繪傳小圖

一天王寺聖徳太子眞向御影

一平治物語三巻　一小柴垣草子繪巻

一法相宗秘事繪巻　一松鳥之圖

○廣通　百二

氏ハ住吉土佐光吉ノ次子幼名光陳通稱内記後薙髪シテ如慶ト改ム法眼ニ任ス画ヲ善クスルヲ以テ將軍家ノ画師トナリ東都ニ住シテ業ヲ世々ニス今ノ画家住吉氏ハ其正統ナリ抑々徃昔住吉慶恩ト云フ名譽ノ画氏アリ業久シク絶タリ廣通勅ヲ奉シテ新ニ住吉ノ家名ヲ興シ依テ如慶ヲシテ住吉家中興ノ元祖トス土佐家ノ画格ヲヨク守リ其圖精密ニシテ頗ル美麗ナリ和画ニ於テ名人トモ謂ツヘシ寛文十年六月二日沒ス七十二歳明治十六年迄二百十四年

遺蹟著名之品

一聖徳太子繪傳　五巻
一多武峯新縁起 具慶画筆
一光明寺縁起　一義経記
一夢物語　一曽我物語
一宇治拾遺　一橋姫物語
一天若彦草子　一木曽物語
一廿四孝巻物　一奈世竹物語
一伊勢物語二巻　一三韓退治
一妙法院宮鳩之間之繪

廣澄　百三

氏ハ住吉如慶廣通カ子通稱内記初メ廣純ト云フ後薙髪シテ具慶ト改ム画風父如慶ニ似タリトイヘトモコトニ人物面部鳥獣ニ至リテハ活動アリテ筆力盛ンナリ依テ人ノ愛顧ヲウクルコト父ニ越タリ宝永二年四月四日没ス七十五歳明治十六年迄百七十八年

遺蹟著名品

一禁中御節會屏風
一箱崎八幡宮縁起　五巻
一妙法院宮御祈念佛五大尊之像大幅
一洛中洛外之圖屏風
一林丘寺宮杉戸鯉之繪

廣保　百四

氏ハ住吉具慶廣澄カ子初メ廣芳通稱内記又内藏允ト云フ晩年ニ至リ薙髪シテ至石ト云フ寛延三年没ス八十五歳明治十六年迄百三十四年

廣守　百五

氏ハ住吉廣保カ二子ニテ嗣トナル通稱内記晩年薙髪シテ慶至ト云フ此人画名高カラス安永年中没七十三歳明治十六年迄百〇七年

廣行　百六

氏ハ住吉廣守カ子通稱内記号ヲ景金園ト云フ實ハ板谷慶舟廣當カ子也廣守嗣ナク依テ門人ヨリ其師家ヲ嗣ク画風活動アリテ人コレヲ賞ス文化八年没五十七歳明治十六年迄七十一年

廣尚　百七

氏ハ住吉廣行カ子通稱内記画名世ニ聞エアリ父子三人共和画ノ鑑定ヲヨクス故ニ鑒札アリ文政十一年没ス四十八歳明治十六年迄五十六年

弘貫　百八

氏ハ住吉廣尚カ子初メ廣定又弘定通稱内記画風土佐家ノ古昔ヲ慕ヒテコトニ活動アリテ近

代ノ上工タリ世ノ人之レヲ賞セサルハナシ住吉代々狩野家ト齊シク将軍家ノ画師ト雖トモ大ニ席ヲ異ニス弘貫ニ至リテ特別ヲ以テ狩野ト同ク始テ旗下ノ列ニ加ハル偏ヘニ弘貫ノ画功也文久四年没ス七十一歳明治十六年迄二十年

○住吉家支流

○廣夏　百九

如慶廣通ノ二子画名ヲ鶴洲ト云フ出家シテ釈門ニ入リ四國ニ住テ高松ノ祥福寺ヲ創ス父ノ画風ヲ慕ヒ終ニ善クス享保十八年没ス九十二歳明治十六年迄百五十八年

○板谷家

○廣當　百十

氏ハ板谷初メ廣度後薙髪シテ慶舟ト云フ住吉廣守ノ門ニ入テ画ヲ學ヒ師ニ越テ活動アリ當時ノ人之レヲ賞ス廣當元ト青山大膳亮ニ仕フ将軍家台閣ニ達シ住吉家ニ次テ柳營ノ画師トナリ世ニ行ハル寛政九年没ス明治十六年迄八十五年

廣長　百十一

慶舟廣當カ子雜髪シテ桂舟ト云フ父ノ業ヲ嗣テ画ヲ善クスコレヨリ後チ子孫廣隆長利アリ一代毎ニ桂意桂舟ト名ヲ異ニスルヲ例トストナン

扶桑畫人傳巻之一終